

広島工業大学 JCD センター様とのコラボ企画「こだわりルームプロジェクト」が
2020 年度「日本建築学会中国支部建築文化賞」を受賞することに決定！

2021 年 1 月 吉日



この賞は、中国地方の建築文化の発展に顕著な貢献が認められる活動に対して表彰し、広く地域文化の発展と建築文化に対する意識の高揚を図ることを目的とされています。

この度、10 年前から継続的に実施している広島工業大学 JCD センター様とのコラボ企画「こだわりルームプロジェクト」が、2020 年度「日本建築学会中国支部建築文化賞」を受賞することに決定致しました。

これもひとえに、初代 JCD センター長の福田由美子教授を始め、歴代のセンター長様、諸先生方、そしてこの賞にご応募いただいた現センター長の川上善嗣教授のご指導の賜物です。また、参加される学生さん方との調整や本活動の運営を支えてくださった JCD センター事務局の皆様方のお陰です。弊社と致しましては、本活動を通じて当企画に参加して下さった延 100 名を超える建築系女子学生さんに、実践的な教育活動の機会を提供できたことを大変誇らしく感じております。

現在、第 8 弾を実施中です。コロナ禍で十分な活動ができない中、オンラインも活用して、でき得る限りの活動を行っております。

今後とも皆様のご協力の下、本活動を継続的に実施して参る所存ですので、引き続きご指導ご鞭撻の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

受賞【人物・団体部門】

島根不動産株式会社と広島工業大学女子学生キャリアデザインセンターの連携による

PBL 教育活動「こだわりルームプロジェクト」

表彰式・講演会

2021 年 5 月 21 日(金)

(川上善嗣教授による推薦内容より抜粋)

教育現場における課題として、最も感動を得ることができる「建築のものづくり文化」を体験する機会がないことが挙げられる。この問題に対して、本活動は建築生産プロセスの最も重要な「自分が設

計、施工した物件が完成した喜びと実際の顧客に入居して貰う喜びを体験できるプログラム」を継続的に実践している。この活動から得られる成果は、直接参加する女子学生に様々な社会的な能力を付与するだけでなく、オープンキャンパスや各種広報活動により、高校生や保護者が知ることで中国地区の建築を志す若年層の増加(建築を志す文化)に貢献している。

この活動は 10 年目であるが、当時は学修成果の見える化や人間力育成といった教育手法は注目されることはなかったが、継続的に実施されることで GPA の活用や人間力を評価する方法も確立され、成果が明らかになってきた。これらの成果は日本工学教育協会での口頭発表(3 件)と日本建築学会建築教育研究論文集に掲載された。また連携する企業にとっては、社員教育の一環として、学生とともにプロジェクトを実行する能力を育成することができ、大学と連携した新しい人材育成システムの試行とも捉えることができる。このことは企業と大学との連携のロールモデルとなる活動であると考ええる。

このように産学連携 PBL という新しい教育手法の先駆けである「こだわりルームプロジェクト」は「建築のものづくり文化」を学生に享受できること、「建築を志す若者」を増加することができること、企業と大学の連携により社員と学生がともにキャリアアップできる点で、総合的な建築文化の向上に貢献しているものと考ええる。

これらの理由で、島根不動産株式会社と広島工業大学女子学生キャリアデザインセンターの連携による PBL 教育活動「こだわりルームプロジェクト」を日本建築学会中国支部中国建築文化賞人物・団体部門に推薦する。

1966 年創業の島根不動産株式会社は、広島市佐伯区を中心に廿日市市、安佐南区の賃貸マンション・アパート等を多数取り扱い、広島工業大学や山陽女子短期大学などの大学生向け物件や高齢者を対象とした賃貸生活サポート事業等を展開している。2011 年 9 月から広島工業大学 JCD センターと連携した「こだわりルームプロジェクト」を実施し、100 名を超える建築系女子学生に実践的な建築生産に関する教育活動の機会を提供している。

本活動を通して得られた成果は以下となり、これらの内容を学協会で発表した。

【学生の立場から】

①学修成果の向上

専門科目の履修前に図面作成、模型製作、CAD 製図、仕上げ施工などを体験することで、当該科目履修時に理解度、関心が向上し、良好な学修成果(GPA の向上)が得られた。

②人間力の向上

広島工業大学では、経済産業省が提唱する「社会人基礎力」で定義されている能力(前に踏み出す力、考え抜く力、チームで働く力)を参考に、本学における人間力を評価する方法として、HIT ポイント制度を実施している。JCD センターでも活動に応じてポイントを付与しており、獲得 HIT ポイント数が多いほど人間力が向上していると考えられる。プロジェクトに参加している学生は、継続型の課外活動分野でのポイント取得と色彩検定や各種講習会への参加ポイント等が付与される。この HIT ポイントについても、プロジェクト参加学年で検証したところ、人間力の向上が見られた。

③就職活動ツールとしての利用

就職活動において、在学中の課外活動等は重要な項目であり、JCD センターではこの点を意識して活動を展開している。多くの学生がエントリーシート等に参加した活動内容を記述するとともに、面談時には説明できるよう準備している。その結果、毎年高い就職率を達成している。

【連携企業の立場から】

近年の学生のこだわりやニーズが把握できることで、物件のリフォームプランの新しいヒントを得ることができる。

新入生の入居希望者(特に広島工業大学入学者)に当該活動を紹介することで、学生生活の一部を身近に感じることができ、入学生、保護者へ安心感を付与できる。実際にプロジェクトで施工中の物件を、学生のプレゼン資料を見て入居を決めた事例もある。

【JCD センター、大学の立場から】

PBL 活動の計画から実施といった実践的な教育手法を試行でき、他のプロジェクトや学科専門科目への展開ができた。(2020 年カリキュラムから社会実践科目が開講され、そのキーワードとして「PBL 教育活動」が記述されている。)

オープンキャンパスや各種大学広報において、理系女子(リケジョ)技術者育成に向けた学生の教育方法の 1 つとして広く社会に周知することができた。併せて幾つかの学協会でも報告し、情報交換ができた。また受験生が入学試験での面接時に、在学中に取り組みたい活動の一つとしてこの活動を取り上げることも多い。



川上善嗣教授からの年賀状

広島工業大学 JCD センター様とのコラボ企画「こだわりルームプロジェクト」のこれまでの様子は、弊社ホームページにて詳しく公開しております。

ここでは、いくつかの写真でその様子をご紹介します。



キックオフミーティングの様子



物件見学の様子



プレゼンテーション用ツールの準備



プレゼンテーションの様子



表彰式の様子

お部屋のポイント & 完成までの様子

今回のお部屋は施工も学生さん達に手伝っていただきました。その時の様子と一緒に部屋のポイントをご紹介します！

ポイント
カウンターの使い方は無限大
 キッチン横から伸びたカウンターは、調理台やバーカウンター、勉強スペース、ディスプレイスペースなどいろいろな活用ができます。カウンターのスペースもしっかり確保されているため、無駄がありません。

ポイント
収納
 玄関横にもオリジナルの靴収納
 新たにロールカーテンのついたクロセットを設置

ポイント
家具
 折り畳み可能なすのこはベッドとしても布団干しとしても使えます。使わない時は右写真のように折りたたんで収納できます。

ポイント
スイッチ
 スイッチカバーもナチュラルな木材の素材を使用

ポイント
コーキング
 断面が見えないように、45°になるようにカット。実際はびつたり45°ではないので、目測で調整するのは至難の業。

施工の様子

家具を作ったり
床を張ったり

お部屋のポイント & 完成までの様子

今回のお部屋は施工も学生さん達に手伝っていただきました。その時の様子と一緒に部屋のポイントをご紹介します！

素材にこだわったお部屋
 床は杉の無垢材を使用。全部で64枚の板を一つずつ学生さん達が塗って仕上げられています。

キッチン
 レンガとコンクリートは壁紙で表現。今回は壁紙貼りも学生さんの手で。スタイリッシュなデザインのものを選択。シンク下が開放されお部屋が広く感じられます。

ハンガーラック
 照明のデザインにもこだわりを。

照明
 学生さんのオリジナル作品。

こまかなこだわり

作業風景
 大学の先生も一緒に壁紙貼りを手伝っていただきました。

大学で授業の合間をぬって床材の塗装作業。丁寧に塗っていただきました。

現場で寸法を合わせながら微調整。

施工の様子



内覧会の様子

只今、第8弾の最優秀賞「シンプルモダン」を施工中です。



Aチームのコメント

他のチームの方がデザイン性があったなと思うのですが、自分達はシンプルだった。
選ばれたポイントとしては寸法など細かいところまで決めて具体的なものを出したところかと思います。

